

2018年メキシコ選手団の合宿に向けた 競技関係者の視察の受入結果について

1 概要

メキシコオリンピック委員会（MOC）との基本合意後、2018年の合宿意向を表明した13競技を対象に、10月23日から11月20日までの間、競技関係者の現地視察を受け入れました。

この間、各合宿地（10市町）との間で調整が行われ、合宿支援に関する詳細内容及び滞在中に取り組む交流メニューについて合意書が締結され、また、受入時期・派遣規模についても同意されました。

2 2018合宿受入の時期・派遣規模

各競技の合宿期間・派遣規模は、今後、競技団体からMOCへ報告され、基本協定に基づき、MOCから、広島県に対して、正式に回答されます。

受入市町	対象競技	派遣規模	日数	公開試合等	
				延交流日数	公開試合等
広島市	1 体操	30人	10日間（5月初旬～）	1.5日	1回
呉市	2 バレーボール	36人	15日間（5月下旬～）	5日	1回
坂町	3 ビーチバレー	10人	15日間（5月下旬～）	4日	1回
廿日市市	4 空手	25人	21日間（6月初旬～）	3日	1回
	5 柔道	20人	15日間（4月初旬～）	5日	1回
東広島市	6 レスリング	30人	15日間（5月初旬～）	6日	1回
	7 ゴルフ	10人	13日間（7月上旬～）	4日	1回
福山市	8 バドミントン	15人	21日間（6月下旬～）	5日	1回
	9 スポーツクライミング	15人	15日間（6月下旬～）	3日	1回
三原市	10 自転車	23人	15日間（5月下旬～）	5日	1回
尾道市					
三次市	11 ソフトボール	28人	15日間（6月初旬～）	5日	1回
三次市	12 陸上	30人	21日間（8月下旬～）	5日	2回
安芸太田町	13 射撃	28人	16日間（8月中旬～）	5日	1回
計	—	300人	207日間	—	—

※ 合宿受入の規模は、選手、スタッフの合計人数。

3 今後の対応

- 各受入市町は、今回の合意事項に基づき、次年度の合宿受入に向けて、準備組織の立ち上げなど、準備を本格化させることとなります。
- なお、年内を目途に、MOCから、2020年までの合宿、視察の時期について、全体計画として、共有される予定です。